

上岡議員、景山議員が聴く 地域共生社会実現に向けた 小さなコミュニティからの実践

表紙写真／サロン絆お助け隊の皆さん

国は「地域共生社会」実現を目指し、制度的な福祉に加え、地域での助け合いによる福祉政策を進めています。

高屋町小谷の上条ハイツでは、通いの場サロンのメンバーを中心に、草刈り・庭木の伐採・粗大ごみの運搬等、ご近所の高齢世帯等への助け合い活動を行われています。その取り組みについてお話を伺いました。

話をお聞きした方



サロン絆お助け隊
代表 中野 正さん



サロン絆お助け隊
中村 拓巳さん

サロン絆お助け隊 活動の成果と課題

Q 活動を始めたきっかけを教えてください。

中野 グラウンドゴルフ同好会で毎朝練習していたところ、練習後に時間を持て余す方が多いことに気づきました。そこで市の「元氣輝きポイント」制度を活用できることもあり、東広島

市社会福祉協議会と連携して健康づくり、生きがいづくり、世代間交流づくりのために、高齢者地域サロンに続き通いの場を設立しました。その活動中、団

地高齢者の一人住まい、管理不全の空き家等について話題となってきました。身近な地域の

困りごとに対応したいとの思いから、サロンのメンバーで作業を行う体力がある方を中心に「お助け隊」を結成しました。

Q 活動立ち上げ時の状況について教えてください。

中村 2020年7月にお助け隊を立ち上げて高齢者世帯など、お助

けの対象になるようなお宅に案内文を投函したものの、最初は依頼が来ませんでした。そこで声をかけ直接困りごとを聞くうちに「じゃあお願いします」ということになり、情報も広まると、声をかけなくても「うちもお願いします」という依頼が次々に入ってきました。

Q 運営の仕組みについて教えてください。

中野 東広島市社会福祉協議会からの補助金、年3回の資源回収の収益、まちづくり協議会か



- ① 取材風景
- ② 剪定前の庭木
- ③ 庭木の剪定作業
- ④ 道路にはみ出した竹木の伐採
- ⑤ 草刈り
- ⑥ 大型ごみの搬出

らの支援を原資に活動しています。ボランティア活動なので、作業に対する料金は一切いただいていません。

Q 活動内容を教えてください。

中村 草刈、竹木の伐採、庭木の手入れが主な活動内容です。市が行っている年2回計4日の粗大ごみ収集の日には、大型の家具などを運ぶことができない方に代わって収集場所まで運ぶことも行っています。

Q 活動において困ることはありますか。

中野 活動中のケガに備え、市社協のボランティア保険に1人あたり年額350円で加入していますが、被保険者の事前登録が必要で、活動メンバーの変更には手続きが必要です。サロンの全員を登録すればよいのですが、それでは高額負担となります。また、自主的なボランティア活動なので、要望があっても電線の周りは電力会社に、公有地は行政に依頼する必要がありますためお断りしています。安全面や権利関係から

言えば当然でしょうが、安全が確保できれば作業自体は短時間で済むため地元で対応できる選択肢も作っていただきたいですね。

Q 他にも地域で取り組むべき課題は何だとお考えですか。

中村 運転免許返納後の移動手段が課題なのではないかと思えます。小谷地域でもコミュニティバスの運行が始まりましたが、誰でも、いつでも、どこへでも、が理想です。「コミュニティバスを補完するような形で近場向けの助け合いの自家用有償運送等が地域で取り組めれば良いかと思っています。

Q 行政に要望はありますか。

中野 資源回収に対する市の補助が増えたのは助かっています。が、市の認めた公式な団体ではなくても、活動実態により軽トラック、草刈り機などの道具を貸与いただける制度があればうれしいですし、伐採した草木の処分もお願いしたいです。また先ほど触れた保険も市で加入していただける制度があれば、なおありがたいです。